

『山梨県環境整備センターオオタカ保護連絡会議』について

～ 会議の概要 ～

≪経緯≫

- ・ 公益財団法人山梨県環境整備事業団では、平成12年から山梨県環境整備センター（以下、「センター」という。）周辺でのオオタカの生息・繁殖状況のモニタリング調査を開始した。
- ・ 平成13年には、鳥類専門家によるオオタカ保護策に係る検討を目的とした会議を開催し、平成19年からは、地元自然保護団体を加えた『オオタカ保護連絡会議』を設置した。
- ・ 以後、同会議では毎年実施したオオタカ等繁殖期モニタリング調査（以下、「モニタリング調査」という。）結果の評価・検討を行っている。
- ・ 今回の会議は、通算9回目の開催となる。

≪平成25年の保護連絡会議の内容≫

平成25年11月5日（火）に会議を開催し、次のとおり平成25年のモニタリング調査結果及び平成26年の調査計画について検討を行い、承認された。

（1）平成25年モニタリング調査結果について

- ・ 昨年と同じセンター周辺の巣（1箇所）において、オオタカの繁殖が成功した。
- ・ センターの業務は、オオタカの繁殖に影響を与えていない。

（2）これまでの調査結果のまとめ

- ・ 平成23年から3年連続してオオタカが繁殖に成功した。
- ・ センターからある程度離れた場所では、センターの操業等がオオタカの繁殖に対して影響がないことが明らかになった。

（3）平成26年モニタリング調査計画について

- ・ 営巣地調査はこれまでと同様に実施することとし、その後の繁殖状況調査はセンター近傍で繁殖が確認された場合に限り実施する。